

【第3次越谷市地域福祉計画】

令和7年度 進捗状況報告書

(案)

令和8年(2026年)7月

越谷市 高齢福祉課

目 次

進捗状況報告書について-----1

1 趣 旨	2
2 計画の体系	2
3 進捗管理の対象	3
4 進捗管理方法	3
5 報告書の見かた	4
6 令和7年度進捗状況	4

進捗状況について -----5

基本目標1	7
重点事業1 福祉SOSゲーム等を活用した地域力の向上	8
基本方針1-1 一人ひとりが互いに尊重し合い、地域で活躍できる機会づくり	9
基本方針1-2 みんながつながりをもてる地域づくり	10
基本目標2	11
重点事業2 地域福祉に関わる関係団体の交流・連絡の機会の創出	12
基本方針2-1 連携・協働による支援の輪づくり	13
基本方針2-2 社会的な孤立を防ぎ、支援につなぐ仕組みづくり	14
基本方針2-3 福祉サービスの更なる充実・向上に向けた環境づくり	16
基本目標3	17
重点事業3 分野横断型の包括的な相談支援体制の構築	18
基本方針3-1 多様な生活課題への支援に向けた体制づくり	20
基本方針3-2 福祉のまちづくり	22

進捗状況報告書について

趣 旨

本報告書は、第3次越谷市地域福祉計画（以下、「本計画」という。）の計画期間における進捗状況を把握し、将来像として掲げた「地域の新たな支え合い～いきいきと暮らせる福祉のまち 越谷～」の実現に向け、本計画を着実に推進することを目的としています。

2 計画の体系

本計画は、将来像の実現に向けて、3つの基本目標と、7つの基本方針、15の施策を体系的に定め、それらに関連する事業を推進することとしています。

そして、地域共生社会の実現に向けて、基本目標ごとに代表する事業を「重点事業」として位置付けています。

また、本計画を着実に実行していくため、市の最上位計画である第5次越谷市総合振興計画と連動した「評価指標」を施策ごとに設定するとともに、各施策に関連する事業を「主な取組」として表示し、それぞれの進捗状況を把握します。

《計画の体系》

基本理念	将来像	基本目標	基本方針	施 策
すべての市民が生涯にわたり、すこやかに、いきいきと、人間らしく、安心して暮らすことができる福祉のまちを実現する	地域の新たな支え合い いきいきと暮らせる福祉のまち 越谷	1. 市民の主体的な参画と協働による地域課題の発見・解決を推進します	(1-1) 一人ひとりが互いに尊重し合い、地域で活躍できる機会づくり	(1-1-1)市民の地域福祉に対する関心と、地域の課題解決力を高めます (1-1-2)地域で活躍する人材を増やし、育てていきます
		重点事業1 福祉SOSゲーム等を活用した地域力の向上	(1-2) みんながつながりをもてる地域づくり	(1-2-1)地域における交流や活動の場をつくります (1-2-2)地域活動団体への参加促進と活動を支援します
		2. 適切な支援を受けられるための包括的な支援体制を強化します	(2-1) 連携・協働による支援の輪づくり	(2-1-1)身近な地域の中で団体・専門機関の連携を強化します
		重点事業2 地域福祉に関わる関係団体の交流・連絡の機会の創出	(2-2) 社会的な孤立を防ぎ、支援につながる仕組みづくり	(2-2-1)身近な地域での相談支援体制を充実させます (2-2-2)支援が必要な人を把握する仕組みを推進します (2-2-3)権利擁護における仕組みを推進します
			(2-3) 福祉サービスの更なる充実・向上に向けた環境づくり	(2-3-1)情報提供を充実させます (2-3-2)サービスの質を向上させます
		3. 一人ひとりがいつまでも自分らしく安全・安心に暮らせる地域をつくります	(3-1) 多様な生活課題への支援に向けた体制づくり	(3-1-1)複雑な地域課題へ横断的に対応します (3-1-2)適切な支援に結びつけるために、庁内連携を強化します
		重点事業3 分野横断型の包括的な相談支援体制の構築	(3-2) 福祉のまちづくり	(3-2-1)地域力を活かした防犯・防災対策に取り組みます (3-2-2)生活しやすい環境づくりに取り組みます (3-2-3)住まいや仕事の支援を充実させます

3 進捗管理の対象

本報告書では、計画期間のうち各年度における取組に対する進捗管理を行います。

《対象年度》		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総合振興計画	地域福祉計画	第5次				
	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	第3次				
	障がい者計画	第8期				
	障がい福祉計画・障がい児福祉計画	第9期				
	子ども・子育て支援事業計画(R7～こども計画)	第5次				
		第6期(障がい者福祉) 第2期(障がい児福祉)				
		第7期(障がい者福祉) 第3期(障がい児福祉)				
		第2期				
		第1期(こども計画)				

本報告書
対象年度

4 進捗管理方法

本報告書では、3つの基本目標ごとの施策の評価を行うため、それぞれの目標に位置付けた「重点事業」「評価指標」に対する進捗管理を行います。

① 重点事業

計画期間中：関連する評価指標の実績値を把握するとともに、各年度の取組状況を表示

計画期間終了時：関連する評価指標の令和7年度目標値における達成状況を表示するとともに、計画期間中における取組状況を表示

② 評価指標

計画期間中：関連する評価指標の実績値を把握

計画期間終了時：令和7年度の実績値により目標値の達成状況を判定

5 報告書の見かた

【評価指標】

指標名	現状値 (R1)	実績値（累計）					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
★地区版福祉SOSゲーム の研修会実施件数(累計)	0件	1件	11件	22件	34件	39件	50件	未達成

【取組状況】

地域資源を学ぶことで、地域福祉力の向上を図る福祉SOSゲームの研修会について、福祉関係者や民生委員、大学生などに実施し、年間5回を実施することができた。

感染症拡大に伴い初動の開催数は伸びず、また年間の講座依頼も当初の目標に満たなかった。講座内容の周知や出張講座の他様々な展開方法を検討していくことが必要である。

評価指標の参考として、実績値及び取組内容を記載

6 令和7年度進捗状況

		指標数	目標値（R7）を 上回る	目標値（R7）を 下回る
評価指標		17	8	9
	基本目標 1	4	0	4
	基本方針 1-1	2	0	2
	基本方針 1-2	2	0	2
	基本目標 2	7	4	3
	基本方針 2-1	2	2	0
	基本方針 2-2	3	2	1
	基本方針 2-3	2	0	2
	基本目標 3	6	4	2
	基本方針 3-1	3	2	1
	基本方針 3-2	3	2	1

進捗状況について

基本目標 1

市民の主体的な参画と協働による地域課題の発見・解決を推進します

重点事業1 福祉SOSゲーム等を活用した地域力の向上

身近な地域の問題を「自分ごと」として捉える意識を育むことを目指して…

福祉課題への対応策についてグループワークを行う「福祉SOSゲーム」を地域で実施し、地域の福祉資源や課題の共有と、助け合いの意識醸成を図ります。

【関連する評価指標】

指標名	現状値 (R1)	実績値（累計）					目標値 (R7)	達成 状況
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
地区版福祉SOSゲーム の研修会実施件数 (累計)	なし	1件	11件	22件	34件	39件	50件	未達成

◎ 令和7年度の取組

地域資源を学ぶことで、地域福祉力の向上を図る福祉SOSゲームの研修会について、福祉関係者や民生委員、大学生などに実施し、年間5回を実施することができた。

引き続き、市全体の地域福祉力の向上を図るため、研修を実施していく。

【実施状況】

実施件数 5件

分 類	件数	内 訳
民生委員・児童委員協議会	1件	桜井
大学	1件	埼玉県立大学
庁内	1件	新採用職員研修
その他	2件	児童関係職員事例検討会、サムズアップワークス勉強会（障がい団体）

《SOSゲームの流れ》

福祉SOSゲームの
サンプル版を使って、
ゲームの内容を体験
してみましょう



地区の地図を見ながら
どのような資源があるか
を出し合ってみましょ
う



地域の中で、どの様な
困りごと（SOS）がある
か、どの様に解決できそ
うか、共有しましょう



基本方針1-1 一人ひとりが互いに尊重し合い、地域で活躍できる機会づくり

第3次計画における目指す姿

- 幅広い世代の地域住民が自分達の地域に関心を持ち、地域や福祉に関する理解を深め、参画していくための意識の醸成・参加の更なる促進を目指します。
- またそれらを実現するために、地域住民が知識を習得するための機会を拡充していきます。

【各施策の状況】

施策1-1-1 市民の地域福祉に対する関心と、地域の課題解決力を高めます

(施策の方向性)

地域住民一人ひとりが地域福祉に対する理解と関心を深め、主体的に考え行動するきっかけとなるよう、課題解決のための知識を習得できる研修や学習の機会を充実させます。

指標名	現状値 (R1)	実績値(累計)					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
★地区版福祉SOSゲーム の研修会実施件数(累計)	0件	1件	11件	22件	34件	39件	50件	未達成

【取組状況】

地域資源を学ぶことで、地域福祉力の向上を図る福祉SOSゲームの研修会について、福祉関係者や民生委員、大学生などに実施し、年間5回を実施することができた。

感染症拡大に伴い初動の開催数は伸びず、また年間の講座依頼も当初の目標に満たなかった。講座内容の周知や出張講座の他様々な展開方法を検討していくことが必要である。

施策1-1-2 地域で活躍する人材を増やし、育てていきます

(施策の方向性)

地域福祉活動の担い手を増やすため、人材育成を目的とした研修や講座を充実させるとともに、地域住民の支え合い活動を支援します。

指標名	現状値 (R1)	実績値(年度別)					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
認知症サポーター養成数 (年度別)	4,926人	2,596人	3,330人	3,378人	3,050人	3,150人	5,000人 以上	未達成

【取組状況】

認知症について地域社会の理解を深めるため、「認知症サポーター養成講座」の開催や、地区健康教育で認知症についての講話を行った。

※令和7年度の認知症サポーター養成数は3,150人

また、認知症サポーターを対象として、より深く実践的な知識を身に付けボランティア活動につなげていくことを目的に、認知症サポータースキルアップ講座「入門編」及び「上級編」を引き続き開催した。

※スキルアップ講座「入門編」：年3回、参加者実数66人、延べ567人

認知症サポーター養成講座「上級編」：年1回、参加者実数39人、延べ265人

基本方針1-2 みんながつながりをもてる地域づくり

第3次計画における目指す姿

- すべての地域住民が住み慣れた地域で楽しく暮らし続けられるよう、地域住民同士が交流できる機会や場所を創出し、みんながつながりをもてる地域づくりを目指します。
- またそれらを実現するために、地域活動への参加促進と、地域で活動する団体の活動支援を行います。

【各施策の状況】

施策1-2-1 地域における交流や活動の場をつくります

(施策の方向性)

地域交流の充実を図るため、多様な交流の場、活動の場を確保するとともに、地域交流事業を推進します。

指標名	現状値 (R1)	実績値(年度別)					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
老人福祉センターの利用者数(年度別)	29万 5,360人	18万 5,058人	20万 9,391人	22万 7,219人	23万 8,468人	24万 2,437人	30万人	未達成

【取組状況】

新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年度利用者数は大きく落ち込んだものの、利用者ニーズを踏まえた講座やイベントを開催するなど、さらなる利用促進に努めたことにより、年間利用者は増加傾向、感染拡大前の人数に回復しつつある。

※年間利用者数242,437人、総開館日数1,194日

施策1-2-2 地域活動団体への参加促進と活動を支援します

(施策の方向性)

地域住民の団体活動への参加促進と活動支援を通じて、地域活動の活性化を図ります。

指標名	現状値 (R1)	実績値(年度別)					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
地域コミュニティ活動の新規・拡充事業数(年度別)	17事業	16事業	14事業	16事業	2事業	6事業	20事業 以上	未達成

【取組状況】

各地区のコミュニティ推進協議会に助成金を交付し、各種事業に対する支援を行った。
今後も、市民活動と地区コミュニティ活動の接点を設け、協力関係を構築するなど、相互の活動の理解と発展を図る。

※各地区コミュニティ推進協議会：全379件(まちづくり事業)

基本目標2

適切な支援を受けられるための
包括的な支援体制を強化します

重点事業2 地域福祉に関わる関係団体の交流・連絡の機会の創出

地域の中で、福祉のネットワークの輪が広がることを目指して…

地域福祉や相談支援等に関わる個人や団体・組織同士が連携を強化するため、交流・情報交換の場を設け、地域の状況や課題・解決策等を共有できる機会を創出します。

【関連する評価指標】

指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
地域福祉に関わる関係団体の 交流・連絡の機会の創出	なし	設置 運用	設置 運用	設置 運用	設置 運用	設置 運用	設置 運用	達成

◎ 令和7年度の実績

令和7年度は、より多くの団体が交流できるよう要望があったことを踏まえ、地域共生社会の実現に向けた「越谷ごちゃまぜの会」を活用したネットワークの拡大に努めた。

引き続き、地域福祉や相談支援等に関わる個人や団体・組織同士の連携強化を図るため、交流・情報交換の機会を創出していく。

■越谷ごちゃまぜの会

開催概要：市内で様々な活動をしている団体・個人の取組や支援を必要とする人が抱えている課題や困りごとを共有し、それぞれが持っている力を総結集して課題解決につなげていくことを目的としている。

開始年度：令和4年度

開催日時：①令和7年11月1日（土）10時～12時※オンライン

②令和8年2月 7日（土）13時30分～16時※対面

参加者：NPO法人、企業、ボランティア団体、行政、個人等

※参加自由のため、途中入退場あり

活動紹介：①5団体、②3団体

内 容：(1)活動紹介

(2)情報交換会

基本方針2-1 連携・協働による支援の輪づくり

第3次計画における目指す姿

- 幅広い世代の地域住民が自分達の地域に関心を持ち、地域や福祉に関する理解を深め、参画していくための意識の醸成・参加の更なる促進を目指します。
- またそれらを実現するために、地域住民が知識を習得するための機会を拡充していきます。

【各施策の状況】

施策2-1-1 身近な地域の中で団体・専門機関の連携を強化します

(施策の方向性)

地域における相談ごとを円滑に解決するため、福祉関係団体・専門機関の連携を強化します。

指標名	現状値 (R1)	実績値(累計)					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
地域包括支援ネットワーク協力事業所数(累計)	471カ所	507カ所	517カ所	551カ所	584カ所	602カ所	530カ所	達成

【取組状況】

地域包括支援ネットワークの趣旨に賛同いただいた協力機関・団体からの情報提供により、支援を必要とする方の早期発見・早期対応に結びつけることができた。

令和7年度は、関係団体等への周知を行い、ネットワーク協力機関の事業所数が累計602カ所(実数499カ所)となった。

指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
★地域福祉に関わる関係団体の交流・連絡の機会の創出	なし	設置 運用	設置 運用	設置 運用	設置 運用	設置 運用	設置 運用	達成

【取組状況】

令和7年度は、より多くの団体が交流できるよう要望があったことを踏まえ、地域共生社会の実現に向けた「越谷ごちゃまぜの会」を活用したネットワークの拡大に努めた。

引き続き、地域福祉や相談支援等に関わる個人や団体・組織同士の連携強化を図るため、交流・情報交換の機会を創出していく。

基本方針2-2 社会的な孤立を防ぎ、支援につなぐ仕組みづくり

第3次計画における目指す姿

- 地域のつながりにより、何かあった際（困難や悩みを抱えた場合など）に周囲が気づいたり、本人がためらわずに相談支援につながるができる地域づくりを目指します。

【各施策の状況】

施策2-2-1 身近な地域での相談支援体制を充実させます

（施策の方向性）

地域住民に身近な地域での相談支援体制を充実させ、地域生活課題に対し迅速に対応します。

指標名	現状値 (R1)	実績値（累計）					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
地域包括支援センター 設置数(累計)	11カ所	12カ所	12カ所	12カ所	12カ所	13カ所	13カ所	達成

【取組状況】

令和7年4月に地域包括支援センター北越谷を開所し、13圏域すべてに設置となった。担当圏域の65歳以上の人口規模に応じた職員配置を行い、介護予防ケアマネジメントや権利擁護に関する情報提供、介護保険の代行申請など適切な支援を実施した。

また、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、介護支援専門員や地域の関係機関との連携強化に努め、地域における連携・協働体制の構築や、個々の介護支援専門員に対する支援も行った。

さらに、大袋地区センターの新規開所に伴い、地域包括支援センター大袋を移設し、相談支援体制の充実を図った。

施策2-2-2 支援が必要な人を把握する仕組みを推進します

（施策の方向性）

地域で支援を必要としている人を把握し、アドバイスを行ったり、適切な福祉機関につなげる仕組みづくりを推進します。

指標名	現状値 (R1)	実績値（年度別）					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
民生委員・児童委員相談 支援件数(年度別)	9,740件	7,278件	7,380件	6,457件	6,481件	6,060件	1万件 以上	未達成

【取組状況】

埼玉県の事業に民生委員・児童委員が参加するなど、関係機関との連携・協力体制の強化を図り、民生委員活動の円滑化を図った。今後も関係機関が行う様々な研修会や講演会などの情報提供や参画を促進し、関係機関と連携した相談・支援体制を強化する。

施策2-2-3 権利擁護における仕組みを推進します

(施策の方向性)

権利擁護に関する仕組みの充実と、適切な利用に向けた制度の周知を行います。

指標名	現状値 (R1)	実績値(累計)					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
成年後見制度にかかる中核機関の設置数(累計)	なし	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所	達成

【取組状況】

成年後見センターが、判断能力の不十分な高齢者、障がい者等の権利と財産を守る法的な支援制度として、成年後見制度が身近なものとして活用されるよう、制度の周知や利用啓発、個別相談への対応を行った。

※令和7年度相談件数：1, 868件

また、周知啓発として市民向け講座及び相談会や出前講座を実施した。さらに、専門職を加えたケース検討会議の開催(年12回実施)、地域の関係専門職団体等が、地域の課題について検討・調整および解決を図るための協議会を開催し(年2回開催)、障害福祉サービスに従事する職員・地域包括支援センター職員を対象とした福祉関係者向け研修会を開催した(年2回実施、参加者延べ56人)。

基本方針2-3 福祉サービスの更なる充実・向上に向けた環境づくり

第3次計画における目指す姿

- 福祉を取り巻く環境の変化、ニーズの高まりや多様化などに応じ、さらなる福祉サービスの質の向上やサービスに関する情報提供の充実を目指します。

【各施策の状況】

施策2-3-1 情報提供を充実させます

(施策の方向性)

支援を必要とする人が、必要としている情報を入手できるよう、様々な媒体を活用した情報提供を行います。

指標名	現状値 (R1)	実績値（年度別）					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
地域包括支援センターを知っている人の割合 (年度別)	64.1%	調査 実施なし	61.1%	調査 実施なし	調査 実施なし	69.3%	80%	未達成

【取組状況】

高齢者の相談窓口である地域包括支援センターにおいて、介護や健康、生活等に関する相談に応じ、必要な情報提供を行った。

引き続き、支援を必要としている人が地域包括支援センターへの相談に繋がるよう、広報紙やCityメールの配信、ホームページへの掲載をはじめ、地域の高齢者が集まるサロン等へ積極的に参加するなど、地域包括支援センターの周知を行っていく。

施策2-3-2 サービスの質を向上させます

(施策の方向性)

サービス利用者がより質の高い福祉サービスを受けられるよう、サービスの質の確保や、苦情解決のための仕組みの充実を図ります。

指標名	現状値 (R1)	実績値（年度別）					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
福祉施設・事業所への 集団指導の出席状況 (年度別)	93.8%	64.0%	94.3%	68.0%	92.3%	85.0%	90%	未達成

【取組状況】

実地にて定期及び随時の指導監査を実施し、適正な施設・事業所運営、各種サービス等の質の確保及び費用請求の適正化を図った。

また、講習等の方法で実施する指導(集団指導)については、引き続き集団指導資料を市ホームページに掲載後、資料確認報告を電子申請にて行ってもらう形式とした。

基本目標3

一人ひとりがいつまでも自分らしく安全・安心に暮らせる地域をつくれます

重点事業3 分野横断型の包括的な相談支援体制の構築

越谷市全体での包括的相談支援体制の充実を目指して…

高齢者、障がい者、児童、生活困窮者などに対する分野ごとの相談支援体制では、対応が困難で課題が複合化・複雑化しているケース、制度の狭間にあるケースなどに対し、対応策について庁内で検討できる「庁内連携会議」を用いて課題解決を目指します。

【関連する評価指標】

指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
庁内連携会議の設置・運用	なし	設置 運用	設置 運用	設置 運用	設置 運用	設置 運用	設置 運用	達成

◎ 令和7年度の取組

分野を超えた横断的な取組みを推進し、包括的な支援体制の充実に向けた検討を行うため、「地域共生社会の実現に向けた庁内連携会議」を令和3年度に設置した。

令和7年度は、主に重層的支援体制整備事業及びケアラー支援について協議を行った。

引き続き、重層的支援体制整備事業をはじめ、地域共生社会の実現に向けた庁内連携を図っていく。

【構成部課所】

相談支援機関の所管、ケースワーカー配置課所をもとに、構成部課所を選定。

部	課
地域共生部 (現高齢介護部)	地域共生推進課(現高齢福祉課)
	地域包括ケア課
福祉部	福祉総務課
	生活福祉課
	障害福祉課
子ども家庭部 (現こども家庭部)	子ども施策推進課(現こども政策課)
	子ども福祉課(現こども福祉課)
	こども家庭センター
保健医療部	健康づくり推進課
	こころの健康支援室
市民協働部	くらし安心課(現市民相談課)
学校教育部	教育センター

【開催状況】

■ 越谷市地域共生社会の実現に向けた庁内連携会議 2回開催

《第1回会議の概要》

開催日時：令和7年5月21日（水）午後2時～3時

内 容：（1）ケアラー支援について

- ・①ケアラー支援の手引き、②取り組み、③検討結果について説明を行った。

（2）重層的支援体制整備事業の実施状況について

- ・①重層的支援体制整備事業の事業概要、②実施状況、③今後の展望について説明を行った。

《第2回会議の概要》

開催日時：令和7年7月29日（火）午前10時～10時30分

内 容：（1）ケアラー支援について

- ・①ケアラー支援の手引き、②ケアラー向けガイドブック、③ケアラー支援推進員の役割について説明を行った。

【重層的支援体制整備事業の実施状況】

《事業の目的》

社会福祉法第106条の4に基づき、地域共生社会の実現に向け、社会的孤立や育児と介護のダブルケア、8050問題など、従来の高齢者・障害者・子ども・生活困窮者といった対象別の制度では十分にケアしきれない複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備するための事業。この事業には3つの機能があり、各分野で実施されてきた「①包括的相談支援事業」及び「⑤地域づくり事業」を一体的に実施することに加え、既存制度のみでは直ちに対応が難しい支援ニーズへの対応力を向上させるため「多機関協働事業等（②～④）」を実施することで、既存制度・機関の支援者の対応力強化と既存制度・機関間の連携強化を図ることを目的とする。

事業名		事業内容	実施状況(件)				
			R4	R5	R6	R7	
I 相談支援	①包括的相談支援事業	・各相談支援事業者が、相談者の属性に関わらず包括的に相談を受け止め、各種支援機関と連携を図りながら支援を行う。 ・複雑・複合化した課題を抱えており、支援機関の役割分担を整理する必要がある場合は、他機関協働事業へつなぐ	相談事例件数(合計)※新規のみ	20	19	36	35
	②多機関協働事業	・複雑・複合化した課題に対して、関係者や関係機関の役割を整理し、支援の調整を行う	多機関協働事業	20	16	21	17
	③アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	・複雑・複合化した課題を抱えていることで自ら支援につなぐことが難しい人に必要な支援を届ける。	アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	0	1	9	10
	④参加支援事業	・本人のニーズを踏まえ、社会とのつながりをつくるための支援を行う。	参加支援事業	0	2	6	8
II 参加支援			会議開催回数(合計)※支援調整が必要なケースのみ	10	13	14	26
III 地域づくりに向けた支援			重層的支援会議	7	12	5	7
			支援会議	3	1	9	19
			支援プラン策定状況(合計)※終結協議含む	7	18	13	18
			新規プラン※1	6	5	5	3
			継続プラン	0	6	8	12
			プランの終結	1	7	0	3

基本方針3-1 多様な生活課題への支援に向けた体制づくり

第3次計画における目指す姿

- 複雑・多様化する地域課題に対応するため、世帯や対象者の状況に応じたきめ細かい支援を行うとともに、その世帯や一人ひとりの自立につながるよう、関係機関の連携のもと、状況に応じ相談者に寄り添い、関わりを持ち続ける伴走型支援を行うことを目指します。

【各施策の状況】

施策3-1-1 複雑な地域課題へ横断的に対応します

(施策の方向性)

相談窓口の整備と庁内連携の充実を通して、複雑な課題を抱えた市民の相談に迅速で横断的に対応します。

指標名	現状値 (R1)	実績値（年度別）					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
自立相談支援事業により自立に向けた改善が見られた割合(年度別)	87.9%	93.6%	98.0%	100.0%	100.0%	100.0%	90%	達成

【取組状況】

生活困窮者の自立促進を図り、本人の状態に応じた包括的、かつ継続的な支援を行うため、生活困窮者自立支援事業、子どもの学習・生活支援事業、就労準備支援事業及び住居確保給付金の支給を行った。

《令和7年度末 支援状況》

- ①生活困窮者自立相談受付件数 605件
- ②子どもの学習教室参加人数 83人（小学生21人・中学生26人・高校生等36）
- ③就労準備支援事業利用者数 74人（生活困窮者数21人・被保護者数53人）
- ④住居確保給付金支給世帯 延べ5世帯（単身3世帯・複数2世帯）

指標名	現状値 (R1)	実績値（年度別）					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
子どもの学習・生活支援事業参加率(年度別)	29.7%	27.5%	28.7%	33.0%	32.8%	31.5%	40%	未達成

【取組状況】

貧困の連鎖の防止を目的とし、生活困窮世帯・生活保護世帯の小学生（3年生～6年生）、中学生及び高校生等に対し、学習支援教室の開催、家庭訪問等による相談業務（子どもやその親が日常的な生活習慣を身につけることができる支援、進学に関する支援、中退防止に関する支援）、子どもの就労意欲の喚起に関する支援を実施した。

※子どもの学習教室参加人数（令和7年度末時点）：83人（小学生21人・中学生26人・高校生等36人）

施策3-1-2 適切な支援に結びつけるために、庁内連携を強化します

(施策の方向性)

悩み事を抱えた市民に適切な支援を提供できるよう、庁内連携を強化します。

指標名	現状値 (R1)	実績値					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
★庁内連携会議の 設置・運用	なし	設置 運用	設置 運用	設置 運用	設置 運用	設置 運用	設置 運用	達成

【取組状況】

本市の地域共生社会の実現に向け、分野を超えた横断的な取組を推進するため、「地域共生社会の実現に向けた庁内連携会議」を令和3年度から設置した。

令和7年度は、主に重層的支援体制整備事業及びケアラー支援について協議を行った。

《令和7年度開催状況》

■越谷市地域共生社会の実現に向けた庁内連携会議 2回

第1回 令和7年5月21日

- 議事 ・ケアラー支援について
・重層的支援体制整備事業について

第2回 令和7年7月29日

- 議事 ・ケアラー支援について

基本方針3-2 福祉のまちづくり

第3次計画における目指す姿

- 地域住民が安全に安心して住み続けるための「福祉のまちづくり」を推進するために、防犯・防災、公共交通、居住・就労など、多種多様な分野において福祉の視点が行き届いたまちづくりを目指します。

【各施策の状況】

施策3-2-1 地域力を活かした防犯・防災対策に取り組みます

(施策の方向性)

防犯・防災に向けた活動を行っている団体への支援と、市の体制整備の両輪により、安全に安心して暮らせる地域づくりを推進します。

指標名	現状値 (R1)	実績値(年度別)					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
自主防災組織のカバー率 (年度別)	90.7%	92.0%	93.0%	93.1%	93.3%	93.1%	92.5%	達成

【取組状況】

自主防災組織に対して、防災備蓄倉庫の設置や資器材の購入に補助金を交付した。

さらに、防災知識の普及、意識の啓発、自主防災組織の必要性などを、自主防災組織や自治会等に対し出張講座や講師派遣を実施した。

《令和7年度実施状況》

- ①補助金交付件数 194件
- ②補助金額 11,754,000円
- ③出張講座・講師派遣回数 29回

施策3-2-2 生活しやすい環境づくりに取り組みます

(施策の方向性)

公共施設のユニバーサルデザイン化や、利便性が高く持続可能な公共交通網の形成を通じて、より生活しやすい環境づくりを推進します。

指標名	現状値 (R1)	実績値(年度別)					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
公共交通の満足度 (年度別)	66.0%	63.0%	54.0%	64.7%	53.7%	60.8%	70%	未達成

【取組状況】

越谷市地域公共交通計画に基づき、こしがや公共交通ガイドマップを作成し、公共施設や民間施設へ配布した。

また、越谷げんき de MaaSを令和7年12月より運用開始し、経路検索やMAP機能等を有したWEBアプリケーションを開発したほか、市内在住の75歳以上の方を対象にバス・タクシーの運賃補助を実施し、公共交通の利用促進を図った。

施策3-2-3 住まいや仕事の支援を充実させます

(施策の方向性)

地域生活を営む上で欠かすことができない「居住」と「就労」に関する支援を充実させ、地域住民の豊かな生活実現を目指します。

指標名	現状値 (R1)	実績値（累計）					目標値 (R7)	達成 状況
		R3	R4	R5	R6	R7		
セーフティネット住宅登録戸数(累計)	1戸	2,062戸	2,180戸	2,232戸	2,271戸	2,359戸	420戸	達成

【取組状況】

セーフティネット住宅の登録戸数を増加するため、市公式ホームページにより周知を行った。

引き続き、市公式ホームページ等により周知を行うとともに、民間団体等との連携により、登録戸数の増加を図る。

第3次越谷市地域福祉計画 進捗状況報告書(令和7年度)

令和8年(2026年)7月発行

発行 越谷市

編集 越谷市 高齢介護部 高齢福祉課

〒343-8501

越谷市越ヶ谷四丁目2番1号

TEL: 048-963-9187